

まちの植物の冬

2023.12.02 (土)
於 東京都薬用植物園
きき手：東京生薬協会職員
池村 国弘 (池兄)

鈴木 純 すずき・じゅん

植物観察家／植物生態写真家。1986年、東京生まれ。東京農業大学で造園学を修め、青年海外協力隊として中国で砂漠緑化活動に従事。

帰国後、日本各地の自然を100ヵ所以上訪ね歩き、2018年にフリーの植物ガイドとして独立。身近な環境に着目する『まちの植物はともだち』観察会を軸に、保育・地域活性化・企業のSDGs等へ広く協力。2020年からは植物生態写真家としても、多方面で注目され活躍中。著書に「そんなふう生きていたのね まちの植物のせかい」「種から種へ 命つながるお野菜の一生」(ともに雷鳥社)ほか。2023年、NHK「ダーウィンが来た！」出演2回。

草の冬の過ごし方

ちいさい姿で冬を越す



カラスノエンドウ



ヤエムグラ



(野菜 No.1)

ロゼットで冬を越す



アメリカフウロ



キュウリグサ



メマツヨイグサ



(野菜 No.2)

冬でも咲く



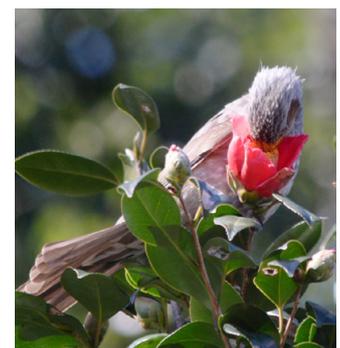
オオイヌノフグリ



ナズナ



ホトケノザ



ヤブツバキ

まちの植物の冬

草 (つづき)

冬の光 を積極利用



ヒガンバナ

樹木…冬芽にみる寒さ対策



裸芽：アカメガシワ



鱗芽：ドウダンツツジ

